



石戸小学校

学校だより
令和7年度6月号
かば桜学園 石戸小学校
TEL 048-591-2007
FAX 048-591-2192



学校 HP

一生懸命にやって勝つことの次にいいことは？

校長 佐藤 貴広

5月8日・9日に、市内6年生の球技大会（バスケットボール大会）が行われました。本校は9日に中丸小、南小、中丸東小との4校によるリーグ戦に臨みました。6年生は、大会に向けて4月から練習に励んできました。4月22日には、西中学校3年生の代表が「かば桜学園」の先輩として、練習に参加し、模範となるプレーやアドバイスをくれました。7日の朝には、球技大会に向けた壮行会を開きました。6年生のキビキビとした入退場、5年生応援団の力強い声、全校児童の元気な声と拍手が響いたエール。学校教育目標の「かしこく やさしく 力づくよく」が具現化された子供たちの姿がありました。私からは大会に臨む6年生に次の二つのことを伝えました。

一つは、「一生懸命にやって勝つことの次にいいことは、一生懸命にやって負けること」。だから、大会ではプレーも応援も何でも一生懸命にやりましょう!と。

もう一つは、「感謝」。試合には勝ち負けがある。勝てば嬉しいし、負ければ悔しい。それは、対戦相手がいてくれたからこそ感じる事ができる。だから対戦相手には感謝の気持ちをもちたい。また、チームの仲間がいてくれるから自分がプレーできるし、送り出してくれる家族や、大会を運営してくれる方々がいることも忘れてはなりません、と。

午前午後とリーグ戦を戦い、最終試合の最終ピリオド。手に汗握る怒涛の追い上げも、あと僅かのところでゲームセット。一生懸命にプレーし応援した6年生。試合を終え、ベンチに引き上げてくる選手と労うチームメイト。どの顔にも微笑みが浮かんでいました。百点満点の球技大会でした。



「一生懸命にやって勝つことの次にいいことは、一生懸命にやって負けること」。出典は、モンゴメリの「赤毛のアン」。村岡花子訳の中では、主人公のアンが試験勉強に最善を尽くした中で「努力のよろこび」を実感する場面で語られます(※)。モンゴメリは、アンという言葉を通して、読者(アンと同年代の若者—今の日本なら小中高校生でしょうか—)に今もエールを送り続けてくれていると私は思います。結果がどうあれ、ものごとを一生懸命にやり抜くことにこそ価値があるのだ、と。(私もこの言葉に励まされている一人です!)

明治41年に開校し、117年の歴史を紡いできた石戸小学校で私達教職員は教育に携われることに感謝し、子どもたちのために何ができるか「一生懸命」に考え教育活動に励んでまいります。どのように励むのか。その方向性を示すものが**目指す学校像「真剣な学び、笑顔と活力ある学校」**です。その具現化のために、各教育活動の目的を明確にし、実行・検証したうえで、改善・改革を進めていきます。保護者、地域の皆様、今月も本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

(※)原文は、「一生懸命にやって勝つことの次にいいことは、一生懸命にやって落ちることなのよ」。(新潮文庫:新潮社)

<6月の行事予定> ※予定は急遽変更になることがあります。ご了承ください。

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	日		16	月	ドリルタイム クラブ
2	月	ドリルタイム 委員会	17	火	児童集会
3	火	全校朝会 2年町探検	18	水	朝の会
4	水	朝の会 4年社会科見学 歯と口の健康習慣6/4～6/10	19	木	朝の会
5	木	朝の会 5年運動器検診	20	金	朝の会
6	金	朝の会 2年町探検予備日	21	土	
7	土		22	日	
8	日		23	月	読書タイム 民生委員・児童委員連絡協議会
9	月	読書タイム 5・6年おはなし会	24	火	朝マラソン 3年生グリコピア見学
10	火	朝マラソン	25	水	朝の会 6年生社会科見学 2年交通安全親子教室(体育館)
11	水	朝の会 縦割り活動	26	木	朝の会
12	木	5年生宿泊体験学習①	27	金	朝の会 第1回学校保健委員会・学校給食委員会
13	金	5年生宿泊体験学習②	28	土	
14	土		29	日	
15	日		30	月	ドリルタイム 委員会

○「トイレボランティア」の活動

5月19日(月)にトイレボランティアの方々に、A棟の1階と2階のトイレを隅々まで丁寧に清掃し、とても綺麗にさせていただきました。ありがとうございました。

○スクールカウンセラー(SC)の勤務

6月19日(木)9:45～15:30

お子さんの事でSCに相談したい方は、お気軽に担任までお問い合わせください。

<スクールソーシャルワーカー(SSW)のご案内>

スクールソーシャルワーカーは、教育と福祉に専門的な知識・技術を有し、児童生徒が置かれた様々な環境への働きかけをして、児童生徒の支援を行う専門家です。児童が安心して学校生活を送れるような体制作りのお手伝いをします。また、学校・家庭・地域や市教育委員会、児童相談所、福祉事務所、民生・児童委員等の各専門機関との連携し、協働しながら児童を支援します。また情報を集め、関係機関と話し合い、支援策を練っていくこともスクールソーシャルワーカーの役割です。お気軽にご相談ください。

<連絡先>

○北本市教育委員会 学校教育課

TEL 048-594-5564

○スクールゾーンについて

・場所：本校の北門に面した道路及び正門に面した道路

・時間帯：午前7時30分から午前8時30分、午後2時30分から午後3時30分

上記の場所、時間帯は本校教職員等に関係する車両以外は通行禁止となります。児童の登下校の安全を守るために設定されたものです。引き続き、ご理解とご協力をくださいますようお願い申し上げます。

